

提供日 2026/06/26
タイトル 【注意報】茶の害虫「クワシロカイガラムシ」の発生予察注意報を19年ぶりに発表！生産者は防除の徹底を！
担当 経済産業部 農林技術研究所病害虫防除所
連絡先
TEL 0538-36-1543



●要旨

茶の害虫「クワシロカイガラムシ」は、本州以南の日本各地に分布し、多発すると茶の新芽が伸びず、品質や収量が大きく低下します。

6月上中旬の茶ほ場の巡回調査の結果、「クワシロカイガラムシ」の寄生株率が平年に比べ高かったことから、本日、令和8年度病害虫発生予察注意報第2号を発表し、生産者に対して注意喚起を行います。

なお、「クワシロカイガラムシ」の発生予察注意報の発表は19年ぶりとなります。

●概要

病害虫名:クワシロカイガラムシ

対象作物:茶

1 注意報の内容

- (1)発生が予想される地域:県内全域
- (2)第2世代幼虫の発生が予想される時期:7月上中旬
- (3)発生程度:多
- (4)防除時期:7月上中旬

2 注意報発表の根拠

6月上中旬の茶巡回調査では、平均寄生株率は県全体で19.8%(平年8.2%)と平年より2倍以上多い発生でした。また、平均発生面積率も、県全体で56.8%(平年33.0%)と平年より多い発生でした。

3 防除方法

- (1)発生が認められる茶園では、適期に防除を行ってください。
- (2)防除適期は、卵の半数以上がふ化に達した卵塊の比率が、全体の60~90%になる時期です。アメダス気象データを用いた予測(6月19日現在)によると、今後の気温が平年並で推移した場合、県内における第2世代幼虫の防除適期は7月3日~18日と予想されます。なお、今後の気温が平年より高く推移した場合、防除適期は早まるので注意が必要です。
- (3)薬液は樹冠内の枝幹に十分かかるよう、十分量(成木園で1,000L/10a)を散布してください。専用のノズルを使うと効果がより高くなります。
- (4)不明な点については、農林事務所等の指導機関にお問い合わせください。

4 注意報の提供先

農協等の指導機関に提供するとともに、病害虫防除所ホームページで情報を公開します。

5 情報の問合せ先

病害虫防除所 TEL:0538-36-1543

病害虫名：クワシロカイガラムシ
対象作物：茶

1 注意報の内容

- | | |
|-----------------------|---------|
| (1) 発生が予想される地域 | : 県内全域 |
| (2) 第2世代幼虫の発生が予想される時期 | : 7月上中旬 |
| (3) 発生程度 | : 多 |
| (4) 防除時期 | : 7月上中旬 |

2 注意報発表の根拠

- (1) 令和8年6月上中旬の茶巡回調査では、平均雄繭寄生株率は県全体で19.8%（平年8.2%）と平年より2倍以上多かった。地域別では、富士山麓で13.3%（平年6.0%）、静岡市北部で13.0%（平年4.6%）、牧之原で32.5%（平年15.3%）、小笠・磐田原で23.8%（平年10.4%）、川根で18.9%（平年4.5%）と各地域で発生が平年より多かった。（表1）
このため、次世代でも発生が多くなることが懸念される。
- (2) 雄繭発生面積率は、県全体で56.8%（平年33.0%）と平年より多かった。地域別では、富士山麓で55.6%（平年24.0%）、静岡市北部で30.0%（平年25.0%）、牧之原で62.5%（平年50.0%）、小笠・磐田原で62.5%（平年41.0%）、川根で77.8%（平年25.0%）であった。（表1）

3 防除方法

- (1) 発生が認められる茶園（図1～3）では、適期に防除を行う。
- (2) 防除適期は、卵の半数以上がふ化に達した卵塊の比率が、全体の60～90%になる時期である。アメダス気象データを用いた予測（6月19日現在）によると、今後の気温が平年並で推移した場合、県内における第2世代幼虫の防除適期は7月3日～18日と予想される。なお、今後の気温が平年より高く推移した場合、防除適期は早まるため注意する。
- (3) 産地ごとの詳細な防除適期は、病害虫防除所ホームページ「[防除時期等予測](#)」を参照する。
- (4) 薬剤防除については、静岡県病害虫防除所による「[静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準](#)」を参照する。なお、薬剤の選択に際しては収穫前日数や総使用回数に注意する。
- (5) 薬液は樹冠内の枝幹に十分かかるよう、十分量（成木園で1,000L/10a）を散布する。ノズルは、専用のノズルを使うと効果が高い。具体的には、動力噴霧器による手散布ではアーチ型ノズル等、乗用型防除機による散布では上方ブームノズルとカイガラノズルを併用する。
- (6) 防除にあたっては、周辺ほ場へのドリフトに十分留意する。
- (7) 不明な点については、病害虫防除所、農林技術研究所茶業研究センター、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

表1 6月の各地域の茶園におけるクワシロカイガラムシ雄繭発生状況

		地域 ^{a)}					
		富士山麓	静岡市北部	牧之原	小笠・磐田原	川根	県全体
平均雄繭寄生株率 (%)	本年	13.3	13.0	32.5	23.8	18.9	19.8
	平年 ^{b)}	6.0	4.6	15.3	10.4	4.5	8.2
雄繭発生面積率 (%)	本年	55.6	30.0	62.5	62.5	77.8	56.8
	平年 ^{b)}	24.0	25.0	50.0	41.0	25.0	33.0

a) 各地域の数値は、10園地の平均値。県全域は全50園地の平均値。

b) 過去10年間（2016年～2025年）の平均値。



図1 茶枝に寄生した雄繭



図2 雌成虫と卵塊



図3 茶枝に寄生した雌成虫

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>

